

TCHAIKOVSKY SYMPHONIES

コバケンのチャイコフスキー交響曲セレクション

～マエストロのお話つきコンサート～

“炎のマエストロ”こと指揮者・小林研一郎がこよなく愛し、
長い演奏活動の中でもひととき情熱をそそぐ
チャイコフスキーの作品を特集します。

前半ではマエストロが選んだこの作曲家の交響曲の中から
聴きどころをトークを交えて紹介します。

どの曲のどの部分をピックアップするかは当日のお楽しみ！

後半では十八番中の十八番「交響曲第5番」を全編演奏します。

円熟を極めるマエストロ渾身のタクトが導く圧巻のサウンドが
劇場の大空間をも揺るがせるに違いありません。

指揮・お話

小林 研一郎(群響桂冠指揮者)

P. I. チャイコフスキー

交響曲 第3番から・第4番から ほか

(コバケン・セレクションで交響曲からピックアップし解説)

交響曲 第5番 ホ短調 Op. 64 (全曲)

※出演者・曲目はやむを得ない事情により変更になる場合がございます。

2025年1月25日(土)14:00開演(13:00開場) 高崎芸術劇場 大劇場

全席指定(税込) S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円(U-25 S席 2,500円 A席 2,000円 B席 1,500円)

※未就学児はご入場いただけません。 ※U-25料金は公演当日25歳以下の方が対象です。当日年齢の分かる身分証明書をご持参ください。

※車イス席・介助席のご購入は高崎芸術劇場チケットセンターまでお電話でお申し込みください。 ※やむを得ず中止になる場合を除き、一度ご購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。

主催:公益財団法人 群馬交響楽団 高崎芸術劇場(公益財団法人 高崎財団)

PROFILES



指揮／小林 研一郎(群響桂冠指揮者) Ken-ichiro Kobayashi, Conductor

東京藝術大学作曲科、及び指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったことを皮切りに世界的に活動の場を挙げ、現在も第一線で活躍を続けている。音楽に対する真摯な姿勢と情熱的な指揮ぶりは「炎のコバケン」の愛称で親しまれ、名実共に日本を代表する指揮者である。

これまでに海外ではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団(25年間、常任客演指揮者を務める)、アーネム・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ハンガリー放送交響楽団等、国内ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等、名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。2002年ブラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

この長年にわたる文化を通じた国際交流や社会貢献によって、ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、ハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では、旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に、アシュケナージ指揮N響、小林研一郎指揮日本フィル等で再演されている。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団・名古屋フィルハーモニー交響楽団・群馬交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ローム ミュージック ファンデーション評議員等を務める。
公式ホームページ <https://maestro-kobaken.com>

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra



1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2023年度までに延べ650万人を超える児童・生徒が鑑賞し、1982年からは高校音楽教室も開催されている。1981年から群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「ブラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。2003年NHKテレビ番組「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」で楽団の草創期が紹介され、2004年に天皇皇后両陛下、デンマーク国王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催している。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎える。

チケット料金(全席指定・税込)

■ S席 5,000円(U-25 2,500円) ■ A席 4,000円(U-25 2,000円) ■ B席 3,000円(U-25 1,500円)

※車椅子席、介助席のご購入は、高崎芸術劇場チケットセンターまで電話でお申し込みください。
※やむを得ず公演中止になる場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。

チケットのお求め(プレイガイドのご案内)

Web 9/13(金) 10:00~

■高崎芸術劇場メンバーズ

<https://takasaki-foundation.or.jp/theatre/membership.php>



■群馬交響楽団チケットオンライン

<https://yyk1.ka-ruku.com/gunkyo-s/>



電話 9/17(火) 10:00~

■高崎芸術劇場チケットセンター

027-321-3900 (10:00~18:00/無休)

■群馬交響楽団事務局(10:00~18:00/土・日・祝休)

027-322-4944 (チケット専用)

窓口 9/18(水) 10:00~

■高崎市施設プレイガイド

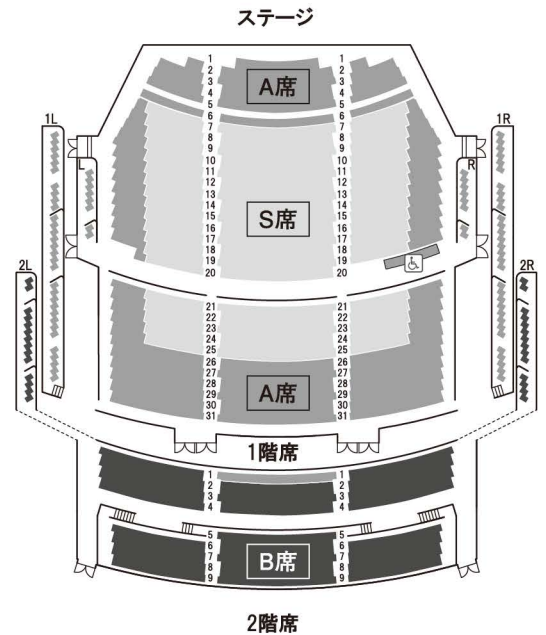
(窓口発売初日10:00~受付開始)

※どちらの場所でも同じ座席をお売りしています。

- 高崎芸術劇場(2Fチケットカウンター) (10:00~18:00/無休)
- 群馬音楽センター(8:30~17:15/月休)
- 高崎市文化会館(8:30~17:15/月休)
- 高崎シティギャラリー(8:30~17:15/無休)
- 箕郷文化会館・新町文化ホール・榛名文化会館・吉井文化会館(8:30~17:15/月・火休)
- 高崎市倉渕支所(地域振興課) 高崎市群馬支所(地域振興課) (8:30~17:15/土・日・祝休)

■群馬交響楽団事務局(高崎芸術劇場3F)

(10:00~18:00/土・日・祝休)



GTシンフォニック・コンサート・シリーズ

■ vol.4 オペラ《魔笛》ハイライト 11/2(土)14:00開演

■ vol.6 ザ・オーケストラ・サウンド 2025年3/1(土)14:00開演【チケット発売】Web:11/8(金) 電話:11/12(火) 窓口:11/13(水)

【交通のご案内】

高崎芸術劇場 〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1 TEL.027-321-7300

●JR高崎駅東口から徒歩5分(東京駅から新幹線約50分)

●関越自動車道・高崎インター・高崎玉村スマートインターから車で約15分(練馬インターから約60分)

※高崎芸術劇場に専用駐車場及び提携駐車場はありません。「近隣駐車場」高崎芸術劇場シャトルについては高崎芸術劇場HP(右記のQR)をご覧ください。

